

江別市D X(デジタルトランスフォーメーション)推進方針

令和5年9月

江別市

もくじ

1 背景と目的

2 構成・期間

3 策定の視点

4 本方針の位置付け

5 ビジョン

6 基本方針と取組事項

7 具体の取組事項と工程表

8 推進体制

9 用語集

1 背景と目的

(1) 背景

- ◆ 新型コロナウイルス感染症への対応において、社会全体で急速に進むデジタル技術への対応に様々な課題が顕在化した。
- ◆ 人口減少や少子高齢化の影響により、人手不足や後継者不足を引き起こし、産業の停滞や縮小、地域コミュニティ機能の低下などのおそれがある。
- ◆ 様々な課題に対し、柔軟・迅速かつ持続的に対応するために、業務の簡易化・効率化や効果的な市民サービスなどが求められている。
- ◆ 大規模自然災害時におけるライフラインの寸断、また、大規模停電に伴い通信障害が発生し情報収集への支障が生じた。
- ◆ 令和2年12月に「自治体DX推進計画」、令和4年6月に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」がそれぞれ策定され、国が目指すデジタル社会の姿が示されるとともに、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容が具体化した。

(2) 目的

市民生活の利便性の向上や、質の高い暮らしの実現に向け、地域社会や行政を取り巻く課題について、デジタルを活用して解決していくための方針や具体的方策などを定めた「江別市DX推進方針」を策定し、地域全体でDXを推進していくこととする。

2 構成と期間

(1) 構成

本方針は、DX推進における取組方針を示したビジョンと、自治体DX推進計画における重点取組事項等を踏まえた主な取組事項及び工程表で構成する。

(2) 期間

デジタル技術の進歩は非常に早く、目まぐるしく状況が変化するため、本方針については期間を定めず、国の動向等を踏まえ、必要に応じて適宜見直しを行う。

3 策定の視点

本方針は、国が目指すデジタル社会の実現のために自治体が重点的に取り組むべき事項・内容などを踏まえ、以下の4つの視点を盛り込む。

① 市民目線で考えるデジタル化

② 行政サービスの見直しによる
市民の利便性向上に資するデジタル化

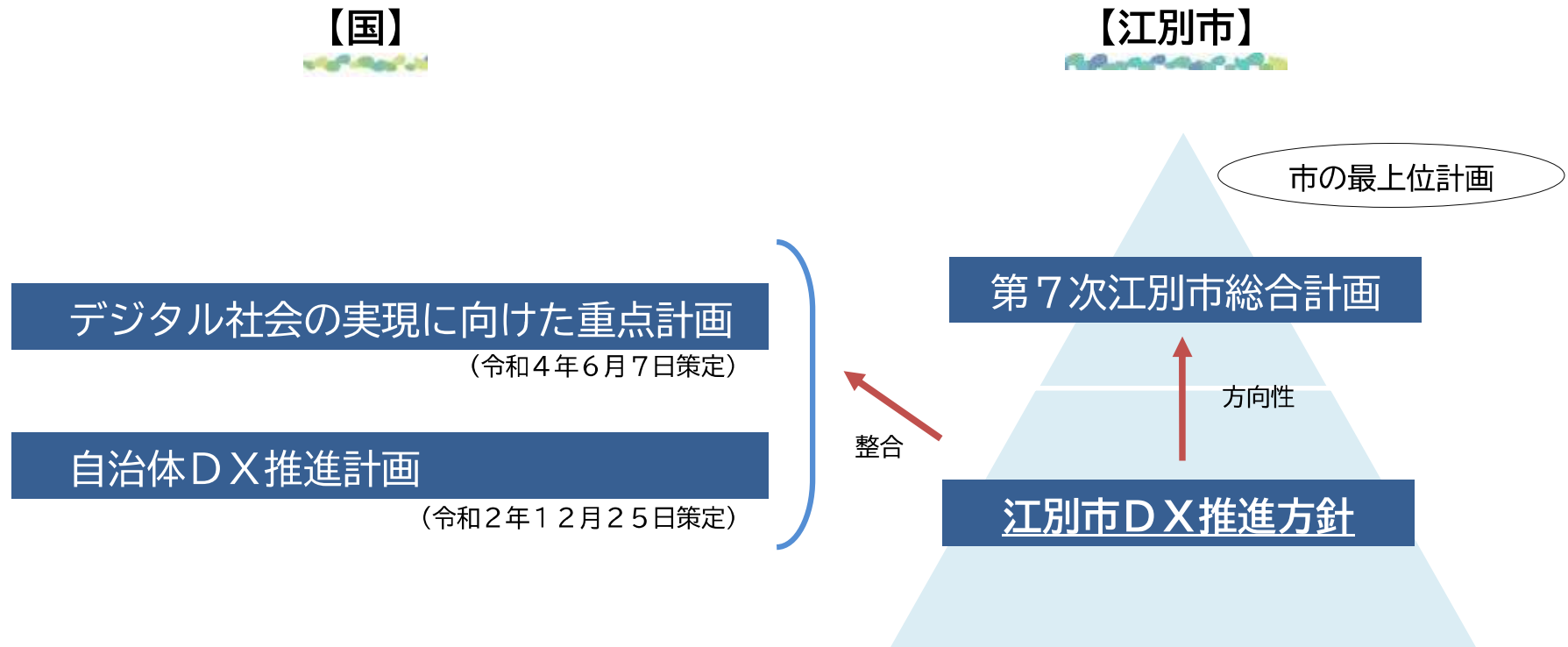
③ 市職員の業務効率の向上
働き方改革に資するデジタル化

④ 地域全体で進めるデジタル化

江別市DX推進方針

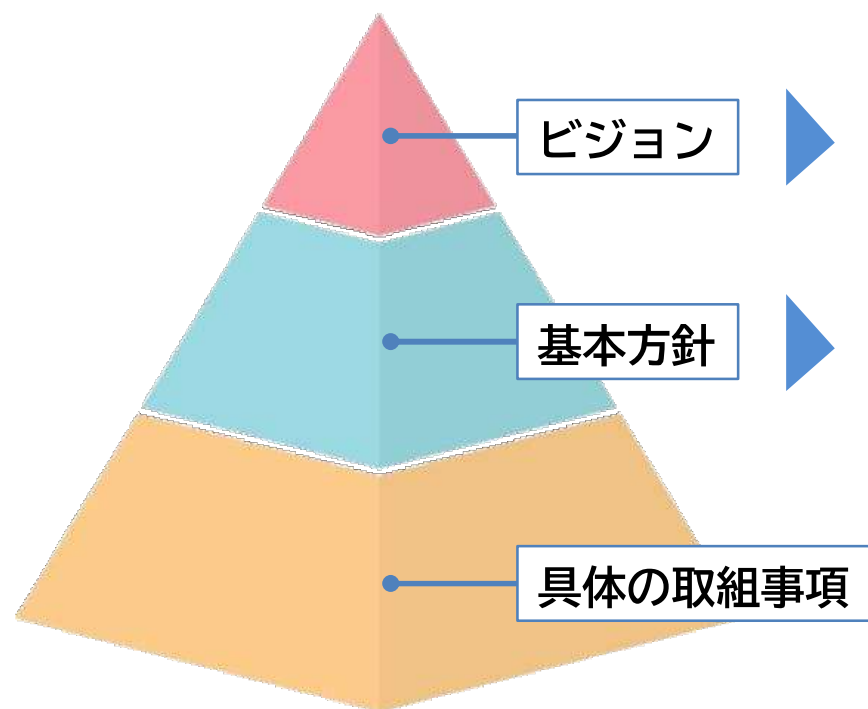
4 本方針の位置付け

本方針は、国のデジタル社会の実現に向けた重点計画や自治体DX推進計画などを踏まえ、また、第7次江別市総合計画において、江別市が取り組むDX推進の方向性を示すものとして位置付ける。



5 ビジョン

D Xの推進は、本市が抱える人口減少や少子高齢化、市民サービスの向上などの課題等を解決するために必要不可欠であり、デジタル化の恩恵を子どもから高齢者まで受けられることで『いつまでも暮らしやすく、便利で快適なまち』（ビジョン）を実現するため、4つの基本方針を基に地域全体でデジタル化を推進する。



【ビジョン】

いつまでも暮らしやすく、便利で快適なまち

【基本方針】

- ① 市民の日常生活を豊かに
- ② 市政業務の効率化
- ③ 新たな価値の創造
- ④ D X推進に係る環境整備

6 基本方針と取組事項

各基本方針の取組事項は、自治体DX推進計画における重点取組事項等を中心に整理する。また、本市においては、デジタル田園都市国家構想推進交付金T Y P E 2の採択を受けた取組もあることから、国の示す計画と整合性を図りながら、市独自の取組事項についても併せて推進していく。

【 基本方針 】

① 市民の日常生活を豊かに

② 市政業務の効率化

③ 新たな価値の創造

④ DX推進に係る環境整備

【 国の重点取組事項等 】

- 地域社会のデジタル化
- 行政手続のオンライン化

具体化

- 自治会のデジタル化
- 情報発信のデジタル化
- 公共交通のデジタル化
- 母子手帳のデジタル化

- 情報システムの標準化・共通化
- AI・RPAの推進

- ペーパーレス化

- オープンデータの推進

- 生涯健康プラットフォームの推進
- スマート農業

- セキュリティ対策の徹底
- テレワークの推進
- デジタルデバйд対策

※マイナンバーカードの普及促進、B P Rの取組等についても併せて取り組む

7 具体の取組事項と工程表①

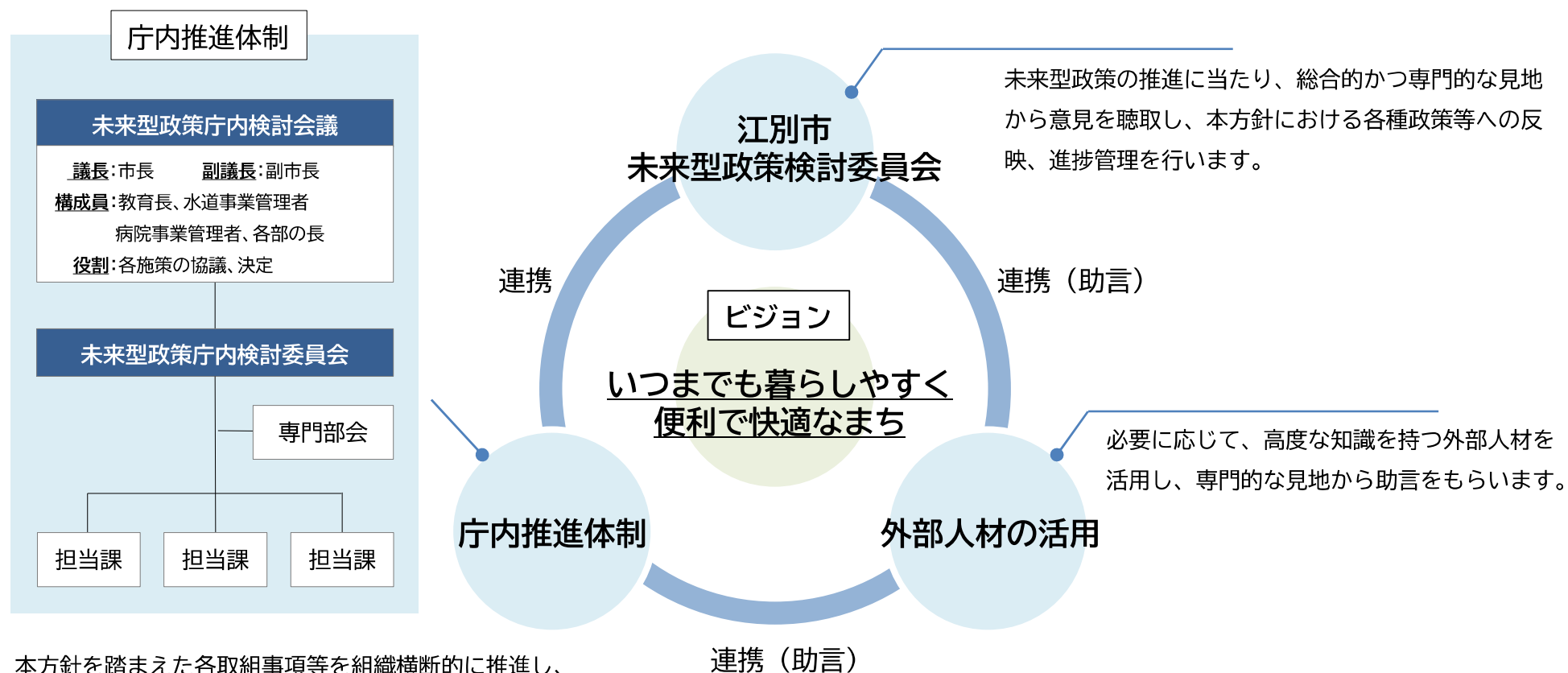
方針	取組事項	内容	R5年度	R6年度	R7年度
市民の日常生活を豊かに	自治会活動のデジタル化	市内の自治会と連携を図り、電子回覧板やオンライン会議の開催など地域の実情に合わせたデジタル化を支援する。	検討	実証	一部実施
	情報発信のデジタル化	HPや市LINE公式アカウントをはじめとする各種SNSを活用し、市政情報をはじめ、防災情報や生活に関する情報を発信する。	実施		
	公共交通のデジタル化	AIを活用したデマンド交通やバスの運行状況の可視化など、市民の利便性向上に寄与するデジタル化を推進する。	検討・実証		
	母子手帳のデジタル化	子どもの発育を細やかに記録できるよう母子手帳の電子化を進める。	一部実施	実施	
	行政手続のオンライン化	窓口業務等で取り扱う申請・届出について、「いつでも」「どこでも」できるようオンライン化を推進する。	実施		
市政業務の効率化	情報システムの標準化・共通化	国が策定した標準仕様に準拠したシステムを導入することにより、発注・維持管理等にかかる事務負担の軽減を図る。	検討		実施
	AI・RPAの推進	AIを活用した議事録作成業務支援システムやRPAを導入することにより、庁内業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの向上に繋げる。	検討	実証	実施
	ペーパーレス化	業務の効率化やコストの削減を目的に、日常業務において紙媒体で運用、保存しているものの電子化を進める。	検討	実証	一部実施

7 具体の取組事項と工程表②

方針	取組事項	内容	R5年度	R6年度	R7年度
新たな価値の創造	オープンデータの推進	市民参加、官民協働による諸課題の解決や市政の透明性・信頼性の向上などを目的に、本市が所有する様々なデータを市民や企業等が利用しやすい状態で公開する。	実施		
	生涯健康プラットフォームの推進	市と北海道情報大学で連携して実施してきた「食の臨床試験」や「健康カード」などの仕組みをデジタル化し、市民の健康管理を支援することで、健康寿命の延伸や医療費の適正化を目指すとともに、当該プラットフォームを他自治体に展開する。	実施		
	スマート農業	担い手不足の解消や負担軽減に繋がるAI・IoT等の先端技術の導入に向けた課題の解決に取り組む。	検討		実証
DX推進に係る環境整備	セキュリティ対策の徹底	行政手続のオンライン化、テレワークなどを踏まえ、適切に情報セキュリティポリシーを見直すなどし、個人情報等の漏えいが起きないように職員のセキュリティに対する意識も醸成する。	実施		
	テレワークの推進	テレワークにより市職員及び市民のライフステージに合った多様な働き方が実現できるよう環境を整備する。	一部実施		実施
	デジタルデバイド対策	高齢者向けのスマートフォン教室を開催するなどし、市民がデジタル化の恩恵を広く受けられるようにする。	実施		

8 推進体制

ビジョンの実現に向けて、市は本方針の推進に当たり中心的な役割を担い、本方針の具体の取組を率先して推進するとともに、江別市未来型政策検討委員会や外部人材と連携を図りながら、取組を推進していく。



本方針を踏まえた各取組事項等を組織横断的に推進し、各検討会議等において施策の検討や進捗管理等を行います。

9 用語集①

用語	解説
AI	「Artificial Intelligence(アーティフィシャル・インテリジェンス)」の略。人工知能のこと。
BPR	「Business Process Re-engineering(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)」の略。業務全体のプロセスを見直し、再構築すること。
DX	「Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)」の略。デジタル技術の活用によってビジネスや人々の生活のスタイルなどが変化すること。
IoT	「Internet of Things(インターネット・オブ・シングス)」の略。様々なモノがインターネットに繋がること。
LINE	スマホやパソコンなどで利用できるコミュニケーションアプリのこと。チャットや通話、ニュースを見ることなどができる。
RPA	「Robotics Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)」の略。パソコン上で行う事務作業を自動化することできるソフトウェアロボット技術のこと。
オープンデータ	政府や地方公共団体、企業などが保有する公共データを、二次利用(加工、編集、再配布等)可能なルールの下、機械判読に適した形式で公開された無償のデータのこと。
オンライン	インターネットにつながっている状態のこと。
自治体DX推進計画	自治体が重点的に取り組むべき事項や内容を具体化に記載したもの。
生涯健康プラットフォーム	一人ひとりのニーズに合った健康維持や健康意識の醸成を図ることなどを目的に作られたスマートフォンの機能のこと。
情報システムの標準化・共通化	各地方自治体が利用しているシステムにおけるバラつきのある業務フローや利用機能・帳票を統一することで、調達コスト低減、IT人材不足の解消、住民サービス向上及び行政の効率化を進めること。
情報セキュリティポリシー	企業や組織において実施する情報セキュリティ対策の方針や行動指針のこと。

9 用語集②

用語	解説
スマート農業	デジタル技術などを活用して、省力化・精密化や高品質生産を可能にする新たな農業のこと。
スマートフォン	電話機能以外にもパソコンの機能などを併せ持った携帯電話のこと。
地域コミュニティ	一定の地域に居住する人々が共通の感情や仲間意識を持ち、相互にコミュニケーションを行っている人々や団体のこと。
デジタル社会の実現に向けた重点計画	目指すべきデジタル社会の実現に向けて、政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策などが記載されたもの。
デジタルデバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる情報格差のこと。
デジタル田園都市国家構想	デジタル技術の活用により地方の個性を活かしながら地域社会が抱える課題を解決し、都市と同じ又は違った利便性と魅力を備えた心豊かな暮らしを実現すること。
デマンド交通	利用者のニーズに応じて運行経路や運行スケジュールなどを柔軟に運行する交通システムのこと。
テレワーク	「tele=離れた場所」、「work=働く」を合わせた造語で、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方のこと。
ペーパーレス化	紙の資料や文書を使わず電子化されたデータを活用・保存し、業務効率化やコストの削減をすること。
ライフステージ	人生の節目となる就職、結婚、出産や子育てなどの出来事によって区分される、それぞれの段階(ステージ)のこと。
ライフライン	電気・ガス・水道などの設備、電話・インターネットなどの設備、物や人の移動に用いる物流や公共交通機関のこと。

